

| | |
|--------|---|
| 研究課題名 | 間脳下垂体疾患の長期追跡に基づく臨床像と転帰の検討 |
| 研究責任者名 | 広島大学大学院医系科学研究科脳神経外科学 准教授 飯田幸治 |
| 研究期間 | 2020年5月18日(倫理委員会承認後)～2027年12月31日 |
| 対象者 | 1990年1月から2025年12月の間に、広島大学病院脳神経外科で間脳下垂体疾患に対する治療を受けられた患者さん。 |
| 意義・目的 | 間脳下垂体疾患は良性腫瘍のことが多く、本来は数十年という長期的な視点で治療する必要があります。しかし、間脳下垂体疾患は発生頻度が低い疾患であり、その長期的な転帰は不明です。本研究は、間脳下垂体疾患の長期追跡に基づく臨床像と転帰を明らかにし、治療の最適化を図ることを目的としています。 |

